

日本野生動物医学会誌 (Japanese Journal of Zoo and Wildlife Medicine) 投稿規定

1. 掲載原稿

本誌は、野生動物医学領域における未発表の英文または和文の原著論文 (Full paper), 総説 (Review article), 研究短報 (Research note), 技術短報 (Technical note), 症例報告 (Case report) および本学会大会のシンポジウムや自由集会等の内容をまとめた特集論文 (Special articles) を掲載する。その他, 編集委員会で特に必要と認め, 会員に有用と判断された場合には, その内容を資料 (Practical information) として掲載する。全ての投稿論文は, 編集委員および複数の審査員によって審査され, 編集委員長が採否を決定する。研究遂行にあたって倫理面への配慮に欠ける論文は採択しない。掲載は原則として審査終了順とする。

2. 投稿料

著者あるいは共著者が学会員である場合, 投稿料は論文 1 編につき 4,000 円とする。著者および共著者のいずれもが非会員である場合は 1 編につき 8,000 円とする。投稿料は, 論文採択後, 学会の請求により指定の口座 (本規定 8) に振り込むこととする。ただし, 委員会が依頼した総説および特集論文については投稿料を必要としない。

3. 和文原稿投稿規定

- 1) 原稿は 1 部提出する。原稿はすべてパーソナルコンピュータで作成し, 原稿と共に記憶媒体 (CD-R, DVD, USB メモリなど) を提出する。その際, OS および使用アプリケーション名を明記する。なお, 提出された記憶媒体は返却せず, 一定期間保管した後, 処分する。
- 2) 原稿用紙は, A4 判を縦長に用い, 1 ページ 25 行とする。新仮名使いで, 学術用語以外は当用漢字を用い, 改行は行頭 1 字分をあけて書き出す。英数字は半角文字, 句読点やカッコは全角文字とする。用紙の周囲には約 3cm の余白をあげ, 各ページ左端余白に, すべての行に行番号 (ページごとではなく, 全体を通した連続番号) を付ける。
- 3) 原稿第 1 ページには, 希望審査分野 (解剖学, 系統分類学, 生化学, 生理学, 毒性学, 免疫学, 細菌学, ウイルス学, 寄生虫学, 病理学, 公衆衛生学, 内科学, 外科学, 繁殖学, 動物行動学, 生態学, 個体群動態学, 飼養学, 動物遺伝学, 生態系保全学, その他), 原著・総説・研究短報・技術短報・症例報告・特集 (特集は, 発表した大会名と年月日, シンポジウムや自由集会等のタイトルも明記する)・資料の別, 表題, 著者名, 所属機関名とその郵便番号および住所, 内容を簡略に示した 20 字以内の略題, 責任著者 (corresponding author) の氏名およびメールアドレス, 所属の変更がある場合は現所属名とその郵便番号および住所を記す。
- 4) 第 2 ページには, 要約 (原著, 総説, 特集および資料では 600 字以内, 短報および症例報告では 200 字以内; 1 パラグラフにまとめる) とキーワード (原著, 総説, 特集および資料では 5 語以内, 短報および症例報告では 3 語以内, 五十音順) を記載する。
- 5) 第 3 または 4 ページ以降の記述の順序は, 原著では, 序論, 材料と方法, 結果, 考察, 謝辞, 引用文献とし, 表, 図の表題および説明 (和文), 原図を後に付ける。総説, 特集および資料では適宜項目名を付して読みやすいように配慮する。短報および症例

報告では, 引用文献を除いてこのように項目分けをしない。

- 6) 本文とは別に, 原著, 総説, 短報, 症例報告, 特集および資料ともに表題, 著者名, 所属機関名とその郵便番号および住所を冠した英文要約 (原著, 総説, 特集および資料では 240 語以内, 短報および症例報告では 120 語以内; 1 パラグラフにまとめる) と KEY WORD (S) (ABC 順) をつける。
- 7) 論文の長さは, 刷上がり (表題, 図・表などを含む) が原著, 総説, 特集および資料では 7 ページ以内 (特集が複数の論文からなる場合は論文ごとに 7 ページ以内), 短報および症例報告では 4 ページ以内とする。
- 8) 動植物・微生物の学名は初出に必ず記し, 学名を含むイタリック体で印刷されるべき箇所にはアンダーラインをつける。
- 9) 略字を使用するときは, 論文中に初めて使用するときに完全な語を掲げ, そのあとに略字をカッコで括って掲示する。
- 10) 数字は算用数字を, 単位は原則として国際単位系 (SI) を用いる。単位記号としては, M, mM, μ M, N, %, m, cm, mm, μ m, nm, pm, cm^2 , l, ml, μ l, kg, g, mg, μ g, ng, pg, hr, min, sec, msec, rpm, Hz, Bq, mBq, μ Bq, kBq, cpm, dpm, ppm, $^{\circ}\text{C}$, J, KJ, lux, CPE, LD などを用いる。
- 11) 文献は引用順に番号をふり, 本文および図表の説明中には文献番号 (例 [1], [1-3], [3-5,7]) を記す。誌名省略は原則として次による。ISO4-1972 (E): Documentation International Code for the Abbreviation of Titles of Periodicals, and ISO833-1974 (E): Documentation International List of Periodical Title Word Abbreviation.
引用文献欄においては番号順に並べ, 以下の要領にしたがって記す。
 1. Brunnert SR, Citino SB, Herron AJ, Altman NH. 1992. Hepatic coccidiosis in chamois (Rupicapra rupicapra). J Zoo Wildl Med 23: 276-280.
 2. Wimsatt WA. 1963. Delayed implantation in the Ursidae, with particular reference to the black bear. In Delayed Implantation (Enders AC ed.), pp. 49-86. Univ. of Chicago Press, Chicago.
 3. Russell LD, Griswold MD. 1993. The Sertoli Cell. Cache River Press, Clearwater.
 4. 南 正人, 大西信正, 高槻成紀, 濱 夏樹. 1992. 金華山におけるニホンジカの大量捕獲と保定. 哺乳類科学 32: 23-30.
 5. 高槻成紀. 1996. 普通種の保全と管理. 保全生物学 (樋口広芳 編), pp. 191-220. 東京大学出版会, 東京.
- 12) 表には縦野線を使用せず, 脚注を要するときは, 表示の語句の右肩に 1), 2), 3) を付記し, 表の下欄外にそれぞれの説明を記す。
- 13) 図 (データ) は A4 判の白色紙にプリントアウトする。図 (写真) は原寸印刷が可能のように, 横は 7.7cm または 16cm のいずれか, 縦は 9cm 以下の大きさとする。図はあわせて通し番号とし, 各図の表題および説明はそれぞれの図の下に記載する。
- 14) 表および図の挿入位置は本文の右欄外に指示する。

4. 英文原稿投稿規定

- 1) 原稿は 1 部提出する。原稿はすべてパーソナルコンピュータで作成し, 原稿と共に記憶媒体 (CD-R, DVD, USB メモリなど) を

提出する。その際、OS および使用アプリケーション名を明記する。なお、提出された記憶媒体は返却せず、一定期間保管した後、処分する。

- 2) 原稿用紙は、A4 判を縦長に使い、1 ページ 25 行とする。用紙の周囲には約 3cm の余白をあける。各ページ左端余白に、すべての行に行番号（ページごとではなく、全体を通した連続番号）を付ける。
- 3) 原稿第 1 ページには、希望審査分野（解剖学、系統分類学、生化学、生理学、毒性学、免疫学、細菌学、ウイルス学、寄生虫学、病理学、公衆衛生学、内科学、外科学、繁殖学、動物行動学、生態学、個体群動態学、飼養学、動物遺伝学、生態系保全学、その他）、原著・総説・研究短報・技術短報・症例報告・特集（特集は、発表した大会名と年月日、シンポジウムや自由集会等のタイトルも明記する）・資料の別、表題、著者名、所属機関名とその郵便番号および住所、内容を簡略に示した 40 字以内（スペースを含む）の running head（略題）、corresponding author（責任著者）の氏名およびメールアドレス、所属の変更がある場合は現所属名とその郵便番号および住所を記す。
- 4) 第 2 ページには、ABSTRACT（原著、総説、特集および資料では 240 語以内、短報および症例報告では 120 語以内；1 パラグラフにまとめる）と KEY WORD（S）（原著、総説、特集および資料では 5 語以内、短報および症例報告では 3 語以内、ABC 順）を記載する。
- 5) 第 3 ページ以降の記述の順序は、原著では、INTRODUCTION, MATERIALS AND METHODS, RESULTS, DISCUSSION, ACKNOWLEDGMENT (S), REFERENCE (S) とし、TABLE (S), FIGURE LEGEND (S) および FIGURE (S) を後に付ける。総説、特集および資料では適宜項目名を付して読みやすいように配慮する。短報および症例報告では、REFERENCES を除いてこのように項目分けしない。
- 6) 本文とは別に、原著、総説、短報、症例報告、特集、資料ともに表題、著者名、所属機関名とその郵便番号および住所を冠した和文要約（原著、総説、特集および資料では 600 字以内、短報および症例報告では 200 字以内；1 パラグラフにまとめる）とキーワード（原著、総説、特集、資料では 5 語以内、短報および症例報告では 3 語以内、五十音順）を付ける。
- 7) 論文の長さは、刷上がり（表題、図・表などを含む）が原著、総説、資料では 7 ページ以内（特集が複数の論文からなる場合は論文ごとに 7 ページ以内）、短報および症例報告では 4 ページ以内とする。
- 8) 動植物・微生物の学名は初出に必ず記し、学名を含むイタリック体で印刷されるべき箇所にはアンダーラインをつける。固有名詞は最初の文字を除いて小文字とする。
- 9) 略字を使用するときは、論文中に初めて使用するときに完全な語を掲げ、そのあとに略字をカッコで括って掲示する。
- 10) 数字は算用数字を、単位は原則として国際単位系 (SI) を用いる。単位記号としては、M, mM, μ M, N, %, m, cm, mm, μ m, nm, pm, cm^2 , l, ml, μ l, kg, g, mg, μ g, ng, pg, hr, min, sec, msec, rpm, Hz, Bq, mBq, μ Bq, kBq, cpm, dpm, ppm, $^{\circ}\text{C}$, J, KJ, lux, CPE, LD などを用いる。
- 11) 文献は引用順に番号をふり、本文および図表の説明中には文献番号（例 [1], [1-3], [3-5.7]）を記す。誌名省略は原則として次による。ISO4-1972 (E) : Documentation International Code for the Abbreviation of Titles of Periodicals, and ISO833-1974 (E) : Documentation International List of Periodical Title Word

Abbreviation.

引用文献欄においては番号順に並べ、以下の要領にしたがって記す。

1. Brunnert SR, Citino SB, Herron AJ, Altman NH. 1992. Hepatic coccidiosis in chamois (*Rupicapra rupicapra*). *J Zoo Wildl Med* 23: 276-280.
2. Wimsatt WA. 1963. Delayed implantation in the Ursidae, with particular reference to the black bear. In *Delayed Implantation* (Enders AC ed.), pp. 49-86. Univ. of Chicago Press, Chicago.
3. Russell LD, Griswold MD. 1993. *The Sertoli Cell*. Cache River Press, Clearwater.
4. Shinshiro A. 1974. Experimental interbreeding between Japanese wild mice and ICR strain mice. *J Growth* 13: 33-36 (in Japanese).
- 12) 表には縦罫線を使用せず、各語句の始めは原則として大文字とする。脚注を要するときは、表示の語句の右肩に 1), 2), 3) を付記し、表の下欄外にそれぞれの説明を記す。
- 13) 図（データ）は A4 判の白色紙にプリントアウトする。図（写真）は原寸印刷が可能ないように、横は 7.7cm または 16cm のいずれか、縦は 9cm 以下の大きさとする。図はあわせて通し番号とし、各図の表題および説明はそれぞれの図の下に記載する。
- 14) 表および図の挿入位置は本文の右欄外に指示する。

5. 著者負担金

下記の費用は著者負担とする。

- (1) 編集委員会が必要と認めた場合の英文校閲料など
- (2) 本規定の制限ページ数を超過したとき、超過の組版、印刷費全額（当分の間、1 ページにつき 20,000 円）
- (3) カラー印刷の実費（ただし、その必要性を審査することがある。カラーの図表等に対し、モノクロ印刷を希望した場合でも、J-STAGE 公開の PDF 版では、校正時に申し出ることにより無料でカラーに変更することができる。）
- (4) 論文の印刷に際して編集委員会が著者原図が製版に不適当と認めた場合のトレース代
- (5) 別刷代（50 部毎に 5,000 円）

6. 著作権

掲載された論文の著作権は学会に属するものとする。図表の転載は学会の許可を必要とする。

7. 原稿の送付先

原稿の送付（原則として郵送に限る）および投稿に関する照会は下記宛とする。なお、投稿に際し、投稿者のメールアドレス、電話・ファックス番号を記すこと。

〒 501-1193 岐阜県岐阜市柳戸 1-1

岐阜大学応用生物科学部 動物繁殖学研究室内

日本野生動物医学会誌編集委員会（委員長 楠田哲士）

E-mail kusuda@gifu-u.ac.jp

8. 送金先

投稿料および著者負担金は下記口座（郵便振替）宛に振り込む。

日本野生動物医学会 00890-3-76589

2017 年 2 月 24 日 改訂